映像翻訳講座

THE FILM SCHOOL OF TOKYO
“TRANSLATION FOR CINEMA” COURSE

2023 年度　募集要綱

映画美学校

2023

映画美学校
THE FILM SCHOOL OF TOKYO

映像翻訳講座 2023 年度基礎科：2023 年 4 月 11 日（火）開講

映像翻訳講座 2023 年度演習科：2023 年 9 月 26 日（火）開講

映像翻訳講座の沿革と概要

映画美学校はアテネ・フランセ文化センターとユーロスペースの共同プロジェクトとして1997年にスタートし、2000年に特定非営利活動法人（NPO）となりました。映像翻訳講座は1999年にスタートし、映画美学校の中でも2番目に長いコースとなり、これまで多くの字幕翻訳者を輩出してまいりました。

映像翻訳とは、まず映像作品を深く理解して、映画に寄り添い、その本質にもっともふさわしい字幕を模索していく作業です。映画美学校・映像翻訳講座では、映画一作品を丸ごと翻訳する、という形を出来るだけ取るようにしています。一作品全体を理解することが、「映画を翻訳する・字幕をつける」ということであるという信念の下、映画の作品性を理解し、作品に寄り添っていく姿勢を学ぶことも目標の1つにしております。

基礎科と演習科のそれぞれ半年ごと、1年間にわたる実践的なカリキュラムによってプロ翻訳者に求められる技術の習得を目指します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講者の都合に合わせ、対面・オンラインどちらかをお選びいただけます。
詳細は基礎科募集要項をご参照ください。

基礎科（半年間）　初心者を対象にした基本ルールから字幕翻訳の実践まで

第一線で活躍している翻訳家によって映像翻訳の基礎知識を解説することから始め、映像と翻訳、映像と字幕の関係を解き明かしていきます。字幕のおもしろさに目覚めてください。字幕がどのような過程を経てできるものなのか学んだ後、制作プロセスに即して翻訳作業を実際に行っていきます。
後半の「翻訳演習／字幕シミュレーション講評」では、受講生ひとりひとりが翻訳した字幕原稿をスクリーンにのせて講義を進めます。毎回、課題として提出された翻訳原稿には、講師による添削のフィードバックがあります。資料の調べ方から表現の方法まで、翻訳作業を繰り返しながら、映像翻訳者に求められる基本的な能力を身につけることができます。

演習科（半年間）　映像翻訳者としての更なる技術の深化

基礎科を修了された方、映像翻訳の基礎技術を習得した方々を対象に開講します。ドキュメンタリーとフィクションの2つの素材を使い、さらなる翻訳スキルの向上を目指します。基礎科から引き続き、映像ソフトを使用したシミュレーション講義を行います。作品にふさわしい字幕とはどういうものか、講師の体験談も交えながら、映画の世界観、流れ、また作中の人物像を表す字幕の表現を、一緒に考えながら追求していきます。

字幕ソフト講習

希望者を対象に字幕ソフト講習を行います。これはプロの翻訳家デビューに必要なスキルである字幕ソフトの基本的な使い方、及びスポッティングの正しい取り方を学ぶ講座です。本校では別講習として設けています。講義は全3回、その後メールによる添削期間を設けております。※詳細はお問い合わせください（次回講習日程は2023 年春に予定しております）。

トライアル

演習科を修了後、トライアル試験を実施。1年のコースを通じて培った翻訳技術の習熟度を測るための試験です。年に1度の実施となります。合格者は希望すれば【翻訳仕事場プロジェクト】に登録することができ、翻訳者としてデビューするための多面的なサポートを講師陣から受けることができます。

翻訳仕事場プロジェクト

トライアル合格者に実際の映像翻訳業務を発注。息の長いスパンで、翻訳デビューまでをサポートします。予告編、DVD、オン・エア作品、映画祭出品作品から劇場公開作品まで、実力次第で様々な映像素材に挑戦できます。

〈実績例〉

東京国際映画祭、爆音映画祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭、東京フィルメックス、大阪アジアン映画祭、マイ・フレンチ・フィルム・フェスティバル、ポーランド映画祭、シネマヴェーラ渋谷「映画史上の名作」など

〈修了生の主な活躍〉

【劇場公開作品】

『ティル・デス』(22)、『ギャング・オブ・アメリカ』(22)、『ジュゼップ　戦場の画家』(21)、
『ダーク・ウォーターズ　巨大企業が恐れた男』(21)、『ドーナツキング』(21)、『リトル・ガール』(21)、
『ブータン　山の教室』(21)、『燃ゆる女の肖像』、(21)『恐るべき子供たち　4K レストア版』(21)、
『わんぱく戦争』(21)『ミス・マルクス』(21)、『プリズナーズ・オブ・ゴーストランド』(21)、
『カオス・ウォーキング』(21)、『リル・バック　ストリートから世界へ』(21)、『スプリー』(21)、
『5月の花嫁学校』(21)、『東洋の魔女』(21)、『＜主婦＞の学校』(21)、『やすらぎの森』(21)、
『スザンヌ、16 歳』(21)、『ローラとふたりの兄』(21)、『母との約束　250 通の手紙』(20)、
『その手に触れるまで』(20)、『男と女　人生最良の日々』(20)、『PMC：ザ・バンカー』(20)他多数

【特集上映・DVD・配信・ドラマシリーズなど】
「脱獄の掟」、「ボディガード」、「らせん階段」、「結婚式のメンバー」、「社会から虐げられた女たち」、
「ボブ・ロス　楽しいアクシデント、裏切りと欲」、「サマーキャンプ」、「フランメルズの大冒険」、
「兄が教えてくれた歌」、「スナイパー　孤高の弾丸」、「アガサと殺人の真相」、
「アガサとイシュタルの呪い」、「アガサと深夜の殺人者」、「地獄の7人」、「決斗！一対三」、
「誕生日シンドローム」、「モンスターズ・ワーク」、「イン・パーフェクト・ストレンジャー」、
「BITE ME The Series」、「ニラの復讐」、「ジーニアス:アレサ」 他多数

【映画祭上映】
東京国際映画祭 2021:『もうひとりのトム』『クリプトズー』『ブローカーたち』『流転の王妃』
東京フィルメックス 2021:『ホワイト・ビルディング』『時の解剖学』『永遠に続く嵐の年』『狼と羊』
『時代革命』
フランス映画祭 2021:『アプローズ、アプローズ！』
大阪アジアン映画祭 2021:『ジェミル・ショー』『愛しい詐欺師』『キラー・スパイダー』
『ナディア、バタフライ』『チョンバル・ソシアル・クラブ』『ブラックミルク』『こことよそ』
SKIP シティ国際 D シネマ 2021:『ケンザの瞳』『国境を越えてキスをして！』
未体験ゾーンの映画たち 2021:『アーカイヴ』
イスラーム映画祭 2022:『ミナは歩いてゆく』
マイ・フレンチ・フィルム・フェスティバル 2022 年作品

各講師プロフィール

松岡葉子　MATSUOKA Yoko　／主任講師

字幕翻訳家。映画翻訳家協会会員。フランス語、英語を中心に劇場公開作品、映画祭など幅広く字幕翻訳を手がける。近年の主な作品に『ホーリーモーターズ』(レオス・カラックス監督／13)、『アデル、ブルーは熱い色』(アブデラティフ・ケシシュ監督／14)、『ホース・マネー』(ペドロ・コスタ監督／山形国際ドキュメンタリー映画際インターナショナル・コンペティション部門ロバート＆フランシス・フラハティ賞(大賞)受賞／16)、『アランフエスの麗しき日々』(ヴィム・ヴェンダース監督／17)、『パリの恋人たち』(ルイ・ガレル監督／18)、『ナチス第三の男』(セドリック・ヒメネス監督／19)、『マルリナの明日』(モーリー・スリヤ監督／第 18 回東京 FILMeX コンペティション最優秀作品賞受賞／19)、『永遠の門　ゴッホの見た未来』(ジュリアン・シュナーベル監督／18)、『ダ・ヴィンチは誰に微笑む』(アントワーヌ・ヴィトキーヌ監督／21)、『映画はアリスから始まった』(パメラ・B・グリーン監督／22)、『猫たちのアパートメント』(チョン・ジェウン監督／22)など。

間渕康子　MABUCHI Yasuko　／演習科講師

字幕翻訳家。岡枝慎二・太田直子両講師による翻訳講座を受講後、映画祭、CS 放送、DVD、ビデオで字幕翻訳を手がける。映画祭や特集上映でアジア映画に多く携わり、主な担当作品に『ブリスフリー・ユアーズ』『トロピカル・マラディ』『光りの墓』(アピチャッポン・ウィーラセタクン監督)、『十年 Ten Years Thailand』(アピチャッポン・ウィーラセタクン監督他／17)、『鏡は嘘をつかない』(カミラ・アンディニ監督／16)、「Hello Stranger」(ペーターセン・バーガス監督／20)、「クラブ・サパン・ファイン」(22)などがある。

惣川雅子　SOKAWA Masako　／基礎科、演習科講師

字幕制作ディレクター。東京現像所で字幕制作ディレクターとして数多くの劇場映画の字幕制作にたずさわる。短期講座で開催している字幕ソフト講習も担当。現在はフリー。

2023 年度　基礎科カリキュラム

2023年4月11日～2023年8月29日

半年間／18回／毎週火曜日　19:00～21:10

担当:松岡葉子、惣川雅子

1	4 月 11 日	火	ガイダンス
2	4 月 18 日	火	字幕の基礎ルール①
3	4 月 25 日	火	字幕の基礎ルール②
4	5 月 9 日	火	字幕の基礎ルール③
5	5 月 16 日	火	映像翻訳の基礎技術
6	5 月 23 日	火	翻訳演習/字幕シミュレーション講評①
7	5 月 30 日	火	字幕シミュレーション講評②
8	6 月 6 日	火	字幕シミュレーション講評③
9	6 月 13 日	火	字幕シミュレーション講評④
10	6 月 27 日	火	字幕シミュレーション講評⑤
11	7 月 4 日	火	字幕シミュレーション講評⑥
12	7 月 11 日	火	字幕シミュレーション講評⑦
13	7 月 18 日	火	字幕シミュレーション講評⑧
14	7 月 25 日	火	字幕シミュレーション講評⑨
15	8 月 1 日	火	字幕シミュレーション講評⑩
16	8 月 8 日	火	字幕シミュレーション講評⑪
17	8 月 22 日	火	字幕シミュレーション講評⑫
18	8 月 29 日	火	総評

※5月2日（火）、6月20日（火）、8月15日（火）は休講

2023 年度　演習科カリキュラム

2023年9月26日～2024年3月19日

半年間／23回／毎週火曜日　19:00～21:10

担当：間渕康子（字幕シミュレーション講評〔ドキュメンタリー〕）、

松岡葉子（字幕シミュレーション講評〔劇映画〕）、惣川雅子

1	9 月 26 日	火	ガイダンス
2	10 月 3 日	火	字幕シミュレーション講評（ドキュメンタリー）①
3	10 月 17 日	火	字幕シミュレーション講評（ドキュメンタリー）②
4	10 月 24 日	火	字幕シミュレーション講評（ドキュメンタリー）③
5	10 月 31 日	火	字幕シミュレーション講評（ドキュメンタリー）④
6	11 月 7 日	火	字幕シミュレーション講評（ドキュメンタリー）⑤
7	11 月 14 日	火	字幕シミュレーション講評（ドキュメンタリー）⑥
8	11 月 21 日	火	字幕シミュレーション講評（ドキュメンタリー）⑦
9	11 月 28 日	火	字幕シミュレーション講評（ドキュメンタリー）⑧
10	12 月 5 日	火	字幕シミュレーション講評（ドキュメンタリー）⑨+総評
11	12 月 12 日	火	ガイダンス
12	12 月 19 日	火	字幕シミュレーション講評（劇映画）①
13	1 月 9 日	火	字幕シミュレーション講評（劇映画）②
14	1 月 16 日	火	字幕シミュレーション講評（劇映画）③
15	1 月 23 日	火	字幕シミュレーション講評（劇映画）④
16	1 月 30 日	火	字幕シミュレーション講評（劇映画）⑤
17	2 月 6 日	火	字幕シミュレーション講評（劇映画）⑥
18	2 月 13 日	火	字幕シミュレーション講評（劇映画）⑦
19	2 月 20 日	火	字幕シミュレーション講評（劇映画）⑧
20	2 月 27 日	火	字幕シミュレーション講評（劇映画）⑨
21	3 月 5 日	火	字幕シミュレーション講評（劇映画）⑩
22	3 月 12 日	火	字幕シミュレーション講評（劇映画）⑪
23	3 月 19 日	火	総評

※10月10日（火）、12月26日（火）、1月2日（火）は休講

映像翻訳講座　2023年度基礎科募集要項

●**受講資格**：18才以上であれば学歴、経験の有無は問いません

●**定員**：20名（最低開講人数：13名）

●**受講期間**：2023年4月11日（火）～2023年8月29日（火）

●**講義場所**：映画美学校（東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS B1F）、もしくはオンライン

●**講義回数・日程**：18回／19：00～21：10

※講師の都合により講義日程や講師に変更の可能性があります。

●**受講料**：145,000円＋実習講習費10,000円＝計155,000円（税込）

※一括納入が原則ですが、ご希望の方には以下の分割払いでのお支払いもご案内をいたします。
　お問い合せ下さい。

●**入学登録料**：10,000円　**※映画美学校通年講座を初めて受講される方のみ**

受講料の分割払いでのお支払いの場合

総額 155,000 円（映画美学校を初めて受講される方は 165,000 円）

77,500 円を前払い（映画美学校を初めて受講される方は 87,500 円）、残額 77,500 円が分割払い。

お支払回数	金利	合計金額	前払金	残額	分割払利息	分割支払金合計	毎月のお支払金額
5	4.20%	155,000	77,500	77,500	3,255	80,775	16,151

（単位：円／税込）

●**受付期間**：2023年4月1日（土）まで（ただし定員になり次第、締切）

●**申込方法**：　オンラインによる申込

映画美学校ホームページ、もしくは右記よりお申し込みください。

お申し込みはこちら

●**受講手続**：申込書を映画美学校で受理後、メールにてご入金手続きの案内をさせていただきます。案内に従って、指定の期日までにお振込下さい。ご入金が確認された時点で申し込み受付完了となります。※一旦納入された受講料は原則として返金できません。

※新型コロナウイルス感染状況により、全面的にオンラインに切り替わる場合がございます。予めご了承ください。

映像翻訳講座　2023年度演習科募集要項

●**受講資格**:映画美学校映像翻訳講座基礎科修了生及び同等のスキルを持つ方

●**定員**:20名(最低開講人数:9名)

●**受講期間**:2023年9月26日(火)～2024年3月19日(火)

●**講義回数・日程**:23回/19:00～21:10

※都合により講義日程や講師に変更の可能性があります。

●**受講料**:185,000円+実習講習費10,000円=計195,000円(税込)

※一括納入が原則ですが、希望者には以下の分割払いのお支払いも可能です。

詳細はお問い合せ下さい。

●**入学登録料**:10,000円　**※映画美学校通年講座を初めて受講される方のみ**

受講料の分割払いでのお支払いの場合

総額 195,000 円(受講料 185,000 円+実習講習費 10,000 円)

■97,500 円を前払い、残額 97,500 円が分割払い

※映画美学校の通年コースを初めて申し込まれる方は、登録料 10,000 円も前払いしてください。

お支払回数	金利	合計金額	前払金	残額	分割払利息	分割支払金合計	毎月のお支払金額
5	4.20%	195,000	97,500	97,500	4,095	101,595	20,319

■全額 195,000 円を分割払い

※映画美学校通年講座を初めて申し込まれる方はご利用いただけません

お支払回数	金利	合計金額	前払金	残額	分割払利息	分割支払金合計	毎月のお支払金額
5	4.20%	195,000	0	195,000	8,190	203,190	40,638
8	7.00%	195,000	0	195,000	13,656	208,656	26,082

(単位:円/税込)

●演習科申込の受付期間、申込方法、受講手続きの詳細は2023年6月頃に発表予定です。

詳細はお問い合わせください。

●お申し込み・お問い合わせ

映画美学校

〒150-0044　東京都渋谷区円山町 1-5 KINOHAUS 地下 1 階

電話番号:03-5459-1850　FAX 番号:03-3464-5507

受付時間(月～土) 12:00-20:00

映画美学校約款

受講上のご注意

◎講義の写真撮影、録画、録音はご遠慮ください。
◎持病のある方、あるいは体調不良になられた方は事務局にご相談下さい。
◎講義の際に使われる各種の機材・備品などの取り扱いは十分に注意して下さい。機材や備品を大切にすることは映画づくりの基本です。
◎館内での私物の管理は、各自で責任を持って行って下さい。賠償の責は負いかねます。また、受講生本人の不注意による事故や物的損害に対しても同様です。
◎当校は現役の映画人に講師をお願いしておりますので、講師のご都合またはやむを得ぬ事由により、講師やカリキュラムを変更することがあります。また、交通機関の混乱や、天災地変などやむを得ない事情で、カリキュラムを変更する事があります。
◎各コースのカリキュラムは、講師陣により日々検討を重ねております。そのため、要項に記載のカリキュラムが若干変更・修正される可能性もございます。変更・修正の際は理由を説明いたします。
◎急なカリキュラムの変更等、当校より緊急連絡をさせていただくことがございます。ご登録の氏名・住所・連絡先等に変更があった場合は、すみやかに事務局にお知らせ下さい。
◎受講希望者が一定の人数に達しないクラスは、開講を見合わせる場合もあります。

受講取消の扱い

◎いったん納入した受講料は、原則としてご返金できません。各講座の予算は講師陣と事務局が協議して慎重に確定いたしますので、その後のキャンセルはカリキュラムの実現に重大な支障を来します。ただ、病気や転勤など、当校がやむを得ないと認めた場合は、開講日以前であれば下記の計算方法でご返金いたします。その場合、医師による診断書や勤務先の辞令(コピー可)など、受講不可能となった事由を証明する書類をご提出下さい。

受講開始日より起算した返金額

30 日前まで:全額の 90%
29 日前～14 日前まで:全額の 75%
13 日前～7 日前まで:全額の 50%
6 日前～1 日前:全額の 25%
なお、講義開始後のお申し出は、お受けできません。

安全面について

◎映画の撮影時には、スタッフ、キャストともに目の前のことに集中するので、事故が起こりやすいものです。事務局から配布される注意事項をよく読んで厳守し、撮影にかかわる人たち全員が安全面に配慮することで、絶対に事故を防ぐようにして下さい。将来、講座修了後も、映画を制作し続ける限り、一番大切なことです。なお、注意事項に書かれていないことは、遠慮なく事務局にご相談下さい。
◎非常口、避難通路などは事前にご確認下さい。災害が発生した場合は、必ず係員の指示に従って行動して下さい。

著作権について

◎本校のカリキュラムの一環として制作された画像、動画、サウンド等の著作権は基本的に映画美学校に帰属します。従って、それらの全部又は一部および、授業風景等を録画・録音したものの全部又は一部を、本校の広報・業績・紹介目的のため、任意かつ無償で利用することがあります。その際、著作者の氏名の表示を省略することもあります。諸般の事情により支障のある方は、開講してなるべく早い時期に事務局にご相談下さい。なお、利用にあたっては、第三者の著作権、商標、名誉、信用、肖像権その他の権利を侵害しないように細心の注意を払います。